

政策名	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち
施策名	2 地域福祉体制づくりの推進

主担当課	社会福祉課
関係課	

1. 施策の現状と課題

少子高齢化や核家族化の進行等を背景に、地域における支えあいの機能や家庭内での介護能力の低下が指摘される中で、複雑・多様化する福祉ニーズに対応し、だれもが安心して暮らせる社会づくりを進めるためには、住民一人ひとりが福祉活動の担い手として各種の活動に自主的に参画する地域福祉の推進が不可欠です。

本市では、社会福祉協議会が、市から受託した各種福祉サービスや介護保険事業を行っているほか、ボランティア活動を促進しながら、地域に密着した幅広い活動を行い、地域福祉活動の中核的な役割を担っています。

また、本市には66名の民生児童委員が設置され、地域の相談窓口として機能しているほか、社会福祉事業の普及に努めています。

しかし、今後、少子高齢化が進行し、援助を必要とする高齢者や障害者等が増加し、地域における福祉ニーズはますます増大・多様化することが予想されるため、より多くの人々の福祉活動への参画を促進し、市民総参画の地域福祉体制をつくりあげていく必要があります。

2. 施策の基本方針

だれもが住み慣れた地域で支えあいながら健康でいきいきと暮らせるよう、社会福祉協議会や関係団体等の活動を支援しながら、市民総参画の地域福祉体制づくりを進めます。

3. 施策の内容(主要施策名)

(1)地域福祉活動推進体制の整備	関連部門、関係機関・団体相互の連携強化、各種サービスや活動についての総合的な情報提供・相談体制の整備を図ります。
(2)福祉意識の高揚	広報・啓発活動や福祉教育の推進、福祉イベントの開催、高齢者や障害者等と地域住民との交流事業の展開等を図り、市民の福祉意識の高揚に努めます。
(3)社会福祉協議会、関係団体等の活動支援	社会福祉協議会をはじめ、民生児童委員、各種関係団体の活動支援に努め、地域に密着した各種福祉活動の活発化を促進します。特に、福祉ボランティアの育成及びNPO（民間非営利組織）の組織化、身近な地域を単位とした福祉ネットワークの形成を促進します。

4. 成果指標及び中間目標年度(H22年度)までの達成度

指標名 [指標の把握方法]	単位		H18年度(初期値)	H22年度(中間値)	H27年度(最終値)	中間目標年度(H22年度)までの達成度
ボランティア登録者数 [ボランティアセンターへの登録者数]	人	目標値	584	904	1,200	中間目標値を達成しています。 ボランティア団体の増加に伴い登録者が前年度より増加しました。
		実績値	584	1,064	—	
社会福祉協議会会員数 [社会福祉協議会の会員数]	人	目標値	9,202	9,300	9,400	自治会の推進により前年度より若干増加しましたが、中間目標値を下回っています。 引き続き、社会福祉協議会の活動内容や会費により地域福祉活動を行っていること等の周知が必要です。
		実績値	9,202	9,184	—	

5. 評価結果(今後の方針、指摘事項)

総括と今後の取組方針(部・課の方針)	総合計画策定委員会委員長指摘事項	市長指摘事項
<p>1. 高齢者福祉施策の推進 急速な高齢化の進展に対応するため、東温市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画に基づき、効果的かつ効率的に高齢者の保健福祉サービスが提供できるように、各種事業を推進します。</p> <p>2. 障害者福祉施策の推進 増大・多様化する障害者福祉サービスに対するニーズに対応するため、東温市障害者基本計画及び障害福祉計画に基づき、サービス等の数値目標を策定するとともに、自立支援給付事業及び地域生活支援事業を提供するための体制を確保し、各種事業の充実を図ります。</p>	<p>本市の福祉サービスの水準を見極め、真に必要なサービスの提供に努めてください。</p>	<p>関係機関と連携をとり、地域社会における体制づくりについて、具体的に検討してください。</p>